

100円循環バス「くる梨」 利用実態調査結果と今後の対応方針について

1. 路線再編の経緯と利用実績の推移

- 100円循環バス「くる梨」は、鳥取市役所移転への対応や中心市街地での周遊性向上を目的に、運行ルート等の再編を行った(令和元年10月より現在のルートで運行を開始)
- 再編後はルート変更に対する混乱等から、利用者数が減少傾向にあったが、令和2年1月から2月にかけては現在の運行ルートが定着し、徐々に利用者数が戻りつつあった
- 一方で、令和2年3月以降は新型コロナウイルスの影響により、利用者数が大きく落ち込んでいる(6月以降は徐々に利用者数が回復)
- 以上の経緯を踏まえ、令和2年度では再編における問題点を抽出し、必要に応じた見直しを検討するために各種調査を実施した

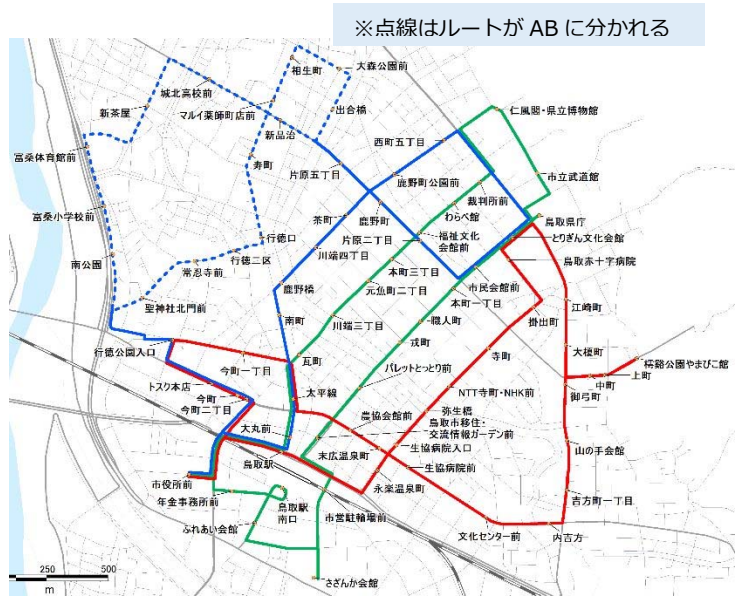


図 現在のくる梨の運行ルート(再編後)

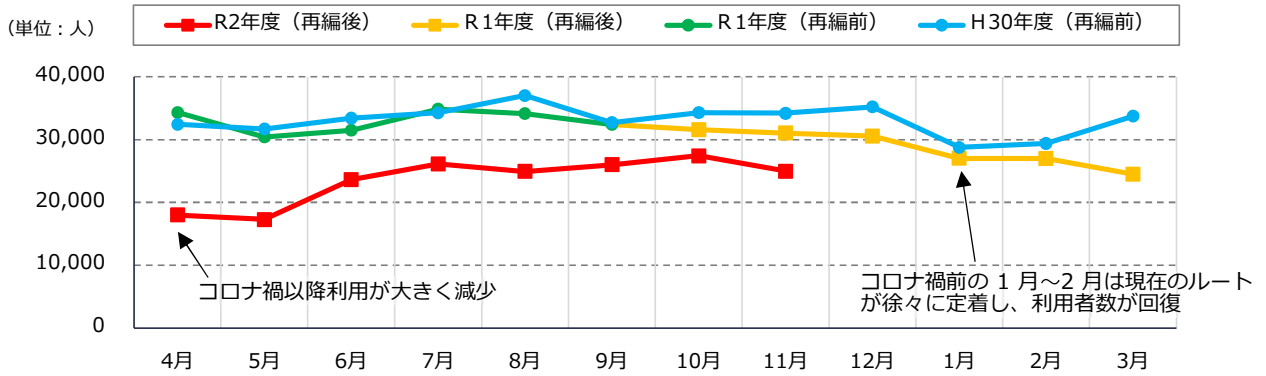


図 くる梨利用者(月別)の推移

2. 利用実態調査の概要

- 再編前と同様に平日・休日の各1日の利用実態(回答者の属性や利用目的、乗降バス停)を調査
- 上記にあわせて利用者への聞き取り調査を鳥取駅バスターミナル、とりぎん文化会館、トスク本店の3箇所を実施し、くる梨利用者の意見を把握

		今回調査(再編後)	【参考】前回調査(再編前)
調査実施日		平日：令和2年9月25日(金) 休日：令和2年9月26日(土)	平日：平成29年11月22日(水) 休日：平成29年11月18日(土)
1日あたり利用者数(人)	平日	1,113人 ※緑：404人 青：459人 赤：250人	1,364人 ※緑：530人 青：437人 赤：397人
	休日	629人 ※緑：183人 青：261人 赤：185	958人 ※緑：346人 青：273人 赤：339人
聞き取り調査回答者数(人)	平日	122人	160人
	休日	93人	145人

※聞き取り調査について、前回は利用実態調査と別日(平成29年12/6(水)、12/9(土))に5箇所を実施

3. 各コースにおける問題点と対応方針

コース	調査結果・問題点	対応方針(見直し等の方針)
緑コース	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用傾向に変化は見られないが、駅周辺を起点とした利用が減少 ● 時間帯別に利用状況を見ると、朝の8時台と昼の15時台の利用者が大きく減少 ● 特に朝の8時台は、<u>鉄道(米子方面からの特急)との接続時間が短く(2分程度)、利用しにくい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の運行ルートを継続 ● 朝・夕の時間帯は鉄道との接続に配慮した時刻設定を検討(<u>再編前の運行時間への変更を検討</u>)
青コース	<ul style="list-style-type: none"> ● コース全体の利用者数は増加しているものの、利用者増加の要因はコース変更による<u>赤コースからの転移</u> ● <u>相生町周辺の利用者数が大きく減少しており</u>、利用者意見からBルートのみ経由しているため、再編前より運行頻度が下がった(便数が少なくなった) <u>ことが影響していると判明</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 把握した利用実態と具体的な利用者意見を踏まえて、<u>青コースの全便が(Aルートも)相生町周辺を経由する見直しを検討</u> ● 運行間隔を維持するため、Aルートは他コールやBルートで代用できる区間(とりぎん文化会館周辺)の経路を削減
赤コース	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者数が全体的に減少しており、再編前の赤コース利用者は路線変更により現在の<u>青コースへ転移したと考えられる</u> ● 鳥取駅やとりぎん文化会館(交通結節点)を起点とした利用は増えておらず、<u>乗り継ぎ利用がされていない</u> ● <u>乗り継ぎに対する抵抗</u>を利用者の意見から確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな商業施設や医療機関等への経路を検討したが、現在の運行間隔を維持することが困難になると判明 ● コロナ禍の影響を踏まえ、ルート自体の見直しは見送り、経過を観察 ● 乗り継ぎに対して利用者の抵抗感があることを踏まえ、<u>案内や周知を改善・強化</u> ● くる梨の他コースとの乗り継ぎだけではなく、<u>他の路線バスや鉄道等との接続を改善し、医療機関へのアクセスを強化</u>

4. 今後のスケジュール

<令和2年度>

- 生活交通会議にて、見直しの方角性について報告(現在)
- 沿線地域への説明及び意見聴取
- 鉄道や他の路線バスとの接続に配慮したダイヤ案の検討
- 生活交通会議にて、新たなルート案およびダイヤ案に対して協議(令和3年3月予定)

<令和3年度>

- 新たなルート・ダイヤ案の周知
- 乗り継ぎ方法に関する案内改善・周知の強化
- 新たなルート・ダイヤでの運行開始(令和3年10月予定)

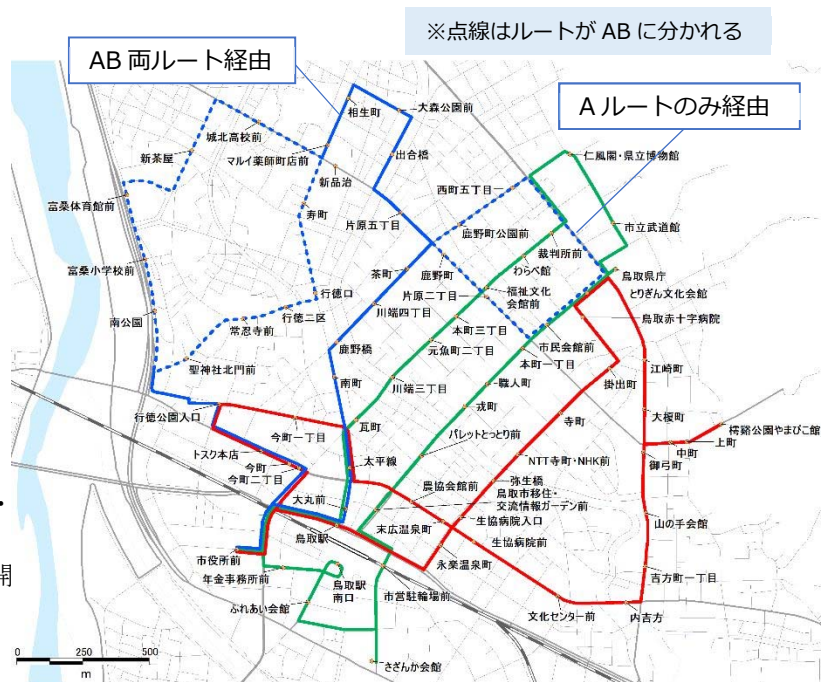


図 運行ルートの見直し案(暫定版)